


 いわき市立総合磐城共立病院

# 地域医療連携室だより

## ～後方ベッドの確保にむけて、病診連携の強化を～

いわき市立総合磐城共立病院 副院長 府 川 修



医療の質の向上、安全性の確保が求められ、一方で病院の健全経営も求められている厳しい医療環境の中で、ベッドコントロールひとつをとってみても困難な状況にあります。病診連携業務のひとつとして、病院間の病床の機能分化も大切なことだと考えています。

特に当院のような自治体病院では、加えて地域の中核的な役割を果たさざるを得ない病院にあつては、経営的には不利な政策医療も行わざるを得ず、一方で種々の市民の要求（救命救急医療、高度医療、小児医療、がん治療等）にこたえるべく活動しており、不採算部門を縮小、廃止することは現時点では行っておりません。

しかしながら当院では第4次医療改革に伴い一般病床を選択し、急性期病院として方向を定め、在院日数の短縮化に向かっているものの、一つには必要な看護師の供給ができないため現有ベッドが十分に活用できずにいること、また亜急性期、あるいは慢性期の治療を引き受けていただいている地域の病院の後方ベッドが、医師不足により以前ほど機能しなくなっているためなどの要因から、在院日数が長引き、結果的にベッド不足の状態が続いています。

当院のベッド数は889床（うち100床は休床）ですが、このうち10床は人間ドック用であり、46床は結核病床であり、6床は感染症ベッドですのでこれらのベッドには通常の救急患者さんは入院できず、または急性期医療もできません。一方当院の救急医療患者は年間約30,000人であり、そのうちの約10%が救急入院となります。ベッドコントロール系の集計によれば、休床ベッドを除いた一般病棟のベッド利用率は常に92～93%であり、救急患者様用のベッドが十分に確保しにくい状況にあります。特に例年急性期医療が混雑する冬場を迎えるにあたり、急性期医療後の後療法をすみやかに引き受けていただき、病診連携が十分に機能してくれることを願っております。


**【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】**

電話 0246(27)0225(直通) FAX 0246(27)5258

 URL <http://www.iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp>

 E-mail [kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp](mailto:kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp)

診療科  
紹介

## 消化器科

消化器科部長

中山晴夫

当院の消化器科は、H14年8月1日よりそれまでの大所帯であった内科から循環器科と一緒に分離独立しました。

消化器科の現在スタッフは、院長、副院長を含め常勤スタッフ医11人、後期研修医3人、初期研修医数名で様々な消化器疾患の診療に携わっています。

特徴としては、上部消化管、下部消化管、肝疾患、胆膵疾患、消化器画像診断と各パートに指導的な人材を配置し、それぞれの専門的な最先端の手技を生かし、協力しあって診療を行っています。若い先生方は、消化器一般にオールマイティーですが、目安として常勤スタッフ全員の専門分野を挙げますと、

樋渡信夫（大腸）、須貝吉樹（肝臓）、星野英二（大腸）、中山晴夫（肝臓）、池谷伸一（肝胆膵）、草野昌夫（肝胆膵）、大楽尚弘（上部）、小島(オジマ)敏明（肝臓）、小島(コジマ)康弘（大腸）、境吉孝（胆膵）、島田憲宏（上部）

それぞれの専門性を生かし、地域の先生方からの問い合わせに懇切にお答えしていきたいと思しますのでよろしくお願いします。

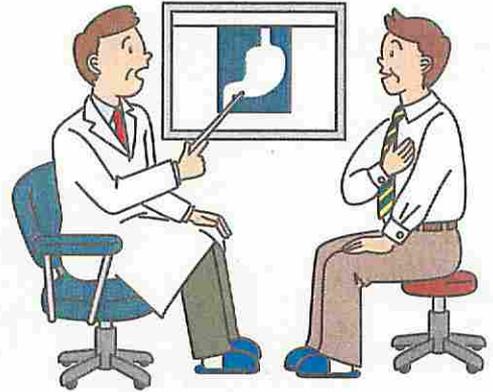
外来は、新患には消化器担当として毎日出ており、再来も、専門外来として毎日3～4人外来にております。検査では、毎日腹部超音波検査、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を行って診療に当たっております。治療においては、食道静脈瘤硬化療法、EMR、ERCP内視鏡的胆道切石術、下部消化管では、TCS、polypectomy、肝臓領域では、TAE、PEIT、ラジオ波焼灼療法など毎週検査治療に励んでおります。

このところ朝晩寒さを増し、吐血の多くなる季節になってきました。昨年は救命救急センター経由の緊急内視鏡を100件行っておりますが、最近の傾向として、消化管出血でも、抗血小板薬、経口抗凝固薬やNSAIDsが使われている例が多く治療に難渋する例が多くなってきております。また、総胆管結石患者が多くなってきており、内視鏡的採石術も多くなってきております。これも高齢化社会からでしょうか。同じく、悪性疾患などの終末期医療も多く、年々増加の一途をたどっております。

他地域に比べ、インターフェロン治療においても病診連携が東北地方の中では最もうまくいっている地域といわれています。今後とも、いわき地区の医療において、信頼される高度な医療をサービス出来るよう、病診連携を通して緊密な関係を作りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

2004年度消化器科疾患別内訳

疾患名	合計	外転	死亡
上部消化管良性疾患	159	4	1
下部消化管良性疾患	316	20	2
肝胆膵疾患	401	42	8
悪性新生物	697	108	119
その他	36	5	3
総退院数	1,609	179	133



2004年度検査内訳

検査	例数
上部消化管内視鏡検査総数 (緊急内視鏡)	6,467例 (100例)
下部内視鏡検査総数	2,077例
超音波検査総数	8,517例
血管造影検査総数	165例

〈消化器科医局員〉



# 診療科 紹介

## 脳 神 経 外 科

脳神経外科部長

増 山 祥 二

当院脳神経外科は、主に東北大学の脳神経外科教室からの数多くの先生方の応援を得て、福島県浜通り中部から茨城県北部にかけての脳神経外科疾患の地域医療を行っております。最近では近隣の脳神経外科施設の機能縮小のため、地域における当科の重要性が増してきています。

疾患としては、頭部外傷・脳血管障害・脳腫瘍・中枢神経系の奇形などを扱います。2002年の救命救急センターの創設以後は同センターとの連携を密にし、手術が必要な頭部外傷・出血性脳血管障害などは当科に連絡をいただき対応しています。スタッフとしては、専門医3名（一人は副院長兼任）、専門医取得予定者1名で診療にあたっております。外来は月・水・金曜日の午前で、午後は検査、火・木曜日は手術日となっています。しかし、当科疾患の特殊性から、救急患者は特殊事情がない限り時間外でも診療しています。当科疾患と考えられ緊急を要すると判断される場合には、直接当科のスタッフに電話でご連絡いただければ対応がスムーズになります。なお、当院は神経内科も充実しています。閉塞性脳血管障害に関しては神経内科で対応するようにお願いしてありますので、地域医療連携室を介してのご紹介の際に参考にしていただければ幸いです。

最近10年間の入院（あるいは退院）患者数の推移は表1、主だった疾患（脳動脈瘤および脳・脊髄腫瘍）の手術患者数の推移は、図1の如くです。年による変動はあるものの、ほぼ同水準で経過しているようです。最近行われるようになってきた血管内脳神経外科は、いまだ全国的に脳血管治療専門医の絶対数が少なく、当科には専門医がおりません。

当科の救急患者は、ほぼ100%即日入院となり、亜急性期になると主に東4病棟に移っていただくこととなります。しかし、同病棟は泌尿器科との混合病棟であり、ベッドが足りないのが悩みの種です。当科入院中の患者様で当科的治療が終了しあとはリハビリテーションのみという場合、なるべく早期に地元の病院等に転院していただくのが、患者様のためにも病院の機能分化の意味（当院は急性期病院を標榜）からも重要と考えています。当科から他院への転院に関しては、表2（磐城共立病院医報26：4-17, 2005 府川修ら）のように転院待ち日数が平均2週間かかっており、この短縮化が必要と考えております。地域医療連携に関与されている先生方のさらなるご協力を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



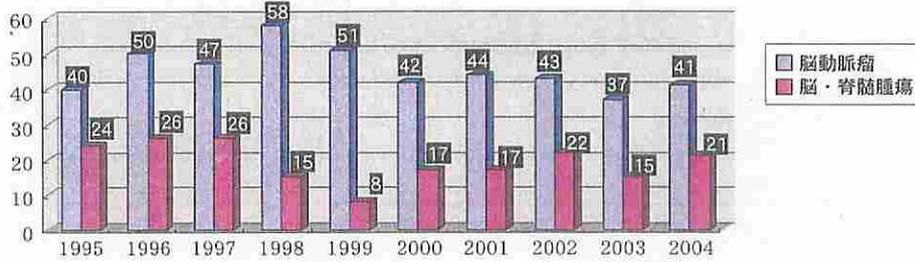


図1：脳動脈瘤および脳・脊髄腫瘍の手術件数の推移

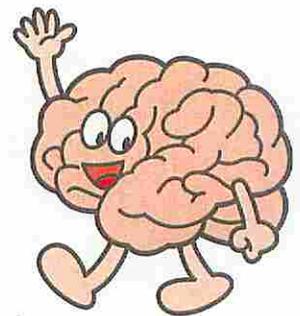
表1：10年間の入院（退院）患者数の推移

年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
入院患者数	339	352	317	242	257	301	343	360		
(退院患者数)							362	353	369	382

表2：転院した47名の平均在院日数と平均転院待ち日数

(磐城共立病院医報 26：4-17, 2005 府川 修ら)

転院先	転院者数	平均在院日数	転院待ち日数
医療施設 A病院	14	56.2	23.8
B病院	6	71.3	20.8
C病院	6	41.8	9.8
D病院	3	34.7	8.0
E病院	3	74.3	7.3
その他の10病院	10	55.0	11.5
療養5施設	5	26.6	2.6
	47	51.3	14.5



〈脳神経外科医局員〉



## ようこそ!! 新任医師紹介

### 外科



#### 橋本明彦

(はしもと あきひこ)

10月1日付で当院に赴任となりました。

初期研修も当院でおこない、

2回目のいわぎでの勤務となります。

どうぞよろしくお祈いします。

### 腎臓・膠原病科

#### 大島瑞保

(おおしま みずほ)

10月1日付で着任いたしました。

よろしくお祈いいたします。



### 耳鼻咽喉科



#### 嵯峨井 俊

(さがい しゅん)

10月1日付で当院に赴任となりました。

非常に広い診療圏を持つこの病院での勤務にあたり、

気持ちを引き締めていきたいと思ひます。

ご迷惑をおかけする場面もあると思ひますが

よろしくお祈い申し上げます。

### 脳神経外科



#### 佐藤 淳一

(さとう じゅんいち)

福島市で生まれ育ちました。

同県民として郷土のためにがんばります。

よろしくお祈い申し上げます。

## ようこそ! 新任医師紹介

### 泌尿器科



**佐々木 光晴**

(ささき みつはる)

10月より泌尿器科にて勤務しております。  
前任の佐々木亨先生と名前は同じ「佐々木」ですが、  
中身はまったく違います。  
佐々木先生とは縁もゆかりもございません。  
いろいろご迷惑をおかけすることもあると思いますが、  
よろしくお願ひいたします。

### 呼吸器外科



**長谷川 剛生**

(はせがわ たけお)

平成17年10月より呼吸器外科で  
診療いたしております。  
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### 救命救急センター



**岡田 一郎**

(おかだ いちろう)

四国、徳島出身で東北地方は  
会津若松市について2度目の勤務となります。  
会津若松では東北の冬の厳しさを知りました。  
いわき市は、「東北の熱海」だと聞いてホッとしていたのですが、  
私にとってはやはり冬は厳しいようです。  
いろいろご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、  
よろしくお願ひいたします。



## 地域医療連携室からのお知らせ

### 診療範囲の縮小について

次の診療科につきましては当院の事情により診療範囲が縮小されており、何かとご不便をおかけしております。

### 皮膚科について

■完全予約診療となっております。

診察日：火曜日 9：30～17：00

水曜日 8：30～12：00

※非常勤医師が交代で診察にあたっておりますのでご理解とご協力よろしく申し上げます。

### 内科新患診療申し込みについて

(1) 新患担当は以下の通りです。

■消化器科：樋渡信夫・須貝吉樹・中山晴夫・池谷伸一・大楽尚弘・島田憲宏

草野昌男・境吉孝・小島敏明・小島康弘

■循環器科：市原利勝・油井満・小松宣夫・杉正文・朴沢英成・三戸征二・戸田直

■糖尿病・内分泌科：種田嘉信

■血液内科・腎臓・膠原病科に関しては再診日の診察予約となります。

※火曜日・第5木曜日は循環器科医師の新患担当はありません。

※希望医師がある場合はその医師の新患担当日にご紹介いただきますと予約が容易になります。

(2) 診療予定日

	月	火	水	木	金
第1診察室	池谷伸一 大楽尚弘 境吉孝 (交代で対応します)	須貝吉樹	草野昌男 小島敏明 島田憲宏 (交代で対応します)	樋渡信夫	中山晴夫 小島康弘 (交代で対応します)
第2診察室	戸田直 三戸征二 (交代で対応します)	種田嘉信	市原利勝 または 油井満	第1-3 朴沢英成 第2-4 市原利勝 第5 須貝吉樹	小松宣夫 または 杉正文

### 窓口新設について

10月より地域医療連携受付窓口が新設されました。地域医療連室を經由してご紹介いただいた患者様はこちらにお越しくだされれば各受付をご案内いたします。